

地域振興対策特別委員会会議録

令和4年1月21日

場 所 第4委員会室

令和4年1月21日（金曜日）

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

午前10時30分開会

会議に付した案件

○協議事項

1. 委員会報告書骨子（案）について
 2. 次回委員会について
 3. その他
-

出席委員（10人）

委員	長	安田	厚生
副委員	長	有岡	浩一
委員		蓬原	正三
委員		外山	衛
委員		右松	隆央
委員		武田	浩一
委員		山下	寿
委員		太田	清海
委員		河野	哲也
委員		井上	紀代子

欠席委員（なし）

委員外議員（なし）

事務局職員出席者

政策調査課主査	飛田	真志野
政策調査課主査	菊地	潤一

○安田委員長 おはようございます。ただいまから地域振興対策特別委員会を開会いたします。

本日の委員会の日程については、お手元に配付の日程（案）を御覧ください。

本日は、委員会報告書骨子（案）及び次回委員会について御協議いただきたいと思いますが、このように取り進めてよろしいでしょうか。

○安田委員長 それでは、そのように決定させていただきます。

まず、協議事項（1）委員会報告書骨子（案）についてであります。

お手元に配付のA3版の資料を御覧ください。正副委員長で作成した委員会報告書の骨子（案）でございます。

ローマ数字Ⅱの調査活動の概要につきましては、当委員会のこれまでの活動内容を体系的に整理して章立ていたしました。

具体的には、1、中山間地域振興、2、地域活性化、3、公共交通、4、地域防災に関することの4つの章で構成しております。

それぞれ御覧いただいておりますような項目に分けて、調査の内容、委員会としての意見等について記述し、最後の結びで総括したいと考えております。

詳細については書記から説明いたします。

○飛田書記 座って説明させていただきます。

資料の左上、ローマ数字のⅡの調査活動の概要です。

前書きの部分で、調査項目設定の経緯等を整理しております。

人口減少や高齢化の進展に加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた経済の落ち込みや社会の変化を的確に把握し、県民皆が未来に夢や、希望を持って暮らすことができる地域や宮崎県をどのようにつくっていくのかが、大きな課題となっていることなどの状況を踏まえ、当委員会では、中山間地域振興、地域活性化、公共交通、地域防災の4項目について調査を実施し、県への提言をまとめた、という書き出しで始めたいと考えております。

まず、1の中山間地域振興に関することです

が、（１）及び（２）では、執行部の説明やオンラインで意見交換を行った内容を基に、中山間地域の現状や県の取組などについて記載します。

（３）では、県内調査で訪問した市町村の中山間地域振興の取組について記載し、委員からの御意見を基に、（４）で、県への提言を４つ挙げております。

１つ目は、人口減少対策の推進の方向性として、コロナ禍の長期化に伴う社会の様々な変化を的確に把握し、人口減少対策の施策に反映することは重要である一方、想定を上回る速さで人口減少や高齢化が進展していることを踏まえ、これまで以上の危機感をもって人口減少対策の取組を進めることを提言します。

２つ目は、中山間地域振興の新たな視点の取り込みとしております。

県当局では、中山間地域振興計画に基づき、ひと・くらし・なりわいの重点施策に取り組んでいますが、人口減少が特に著しい中山間地域に若い人を呼び込む方策の一つとして、委員から御意見がありました、施策の柱にあそびという柔らかい視点を入れるなど、新たな視点を検討することを記載いたします。

３つ目は、特定地域づくり事業協同組合制度の推進としました。

人口急減地域における地域産業の担い手確保の新たな取組として、国・県は、昨年度から、「特定地域づくり事業協同組合制度」を進めています。執行部からの説明や、島根県海士町複業協同組合との意見交換を受けて、委員から、組合設立後の事務局の人的負担や市町村の財政負担などの点に課題がある、と御意見がありました。

提言としては、この制度は、地域産業の担い手確保に非常に有効であり、市町村と連携して

組合設立に向けた支援を行うことに加えて、設立後も組合運営が持続できるように支援することとまとめました。

４つ目は、デジタル化の推進です。

中山間地域における課題解決や、地域活性化の一つの方法として、執行部から、宮崎県情報化推進計画に基づく施策の説明がありました。

委員からの御意見を受けて、提言は、デジタル化の推進に当たっては、地域間格差が生じることがないように施策を推進することとしております。

次に、２の地域活性化に関することですが、ここでは、産業振興と教育分野について調査をいたしました。

まず、（１）、（２）、（４）では、執行部から説明を受けた、成長支援や事業継続促進の取組や、企業等の人材確保支援などの内容を記載し、（３）では、現地調査を行った内容を記載し、４つの提言にまとめました。

１つ目は、企業の事業再構築や成長産業への新規参入について、県が企業を丁寧支援することとし、２つ目は、県内企業が振興することで、地域経済が活性化したり、県外で技術を手につけた方がUターンしたいと思える企業が増えることは重要であるとの委員からの御意見を踏まえて、提言は、地場企業の育成と県外企業の誘致に引き続き取り組むこととしました。

３つ目は、企業の人材確保や就職後の早期離職対策について、企業の努力に加え、関係部局が連携して企業支援に取り組むこととし、４つ目は、今ある高校を存続させ、地域とともに将来の地域社会を牽引する作り手を育成できる学校をつくるなど県立高校が掲げるスクールミッションの実現を目指すこととしました。

続いて、３の公共交通に関することでありま

す。

まず、(1)では、執行部から説明を受けた、地域交通の維持・確保の取組や、現地調査を行った新富町の取組について記載いたします。

(3)の住民の移動や買い物等の支援の取組では、中山間地域のくらしの課題である、生活に必要なサービスを担ってきた事業者の撤退などの対策の一つとして、県当局が取り組んでいる買い物支援事業や有償旅客運送等について記載いたします。

(4)の県への提言は、2つにまとめました。

1つ目は、バス路線の効率化や最適化の検討に当たっては、利用の実態や利用者のニーズを反映できるよう、県・市町村・交通事業者が一体となって協議・検討することとしました。

2つ目は、中山間地域での移動スーパーの運営は、採算を取ることは難しいという参入事業者の意見を受けて、参入事業者の意見を十分に把握し、事業運営が持続するよう支援することとしました。

最後に、調査項目4の地域防災に関することでもあります。

まず、(1)から(3)に、執行部から説明がありました防災・減災の取組や防災力強化のための人材育成の取組、市町村の取組について記載し、(4)県への提言を4つにまとめました。

まず、1つ目は、避難タワー建設の計画がない地域住民から、建設を希望する声があることや、建設計画立案時から時間が経過し、地域の実情が変化していることなどを踏まえ、県は、施設整備の財源を補助する立場から、市町村が施設整備計画を再検討することを働きかけることとしました。

2つ目は、災害時の人的被害を減らすソフ

ト面の対策として、災害に巻き込まれる恐れのある全ての人に避難行動を促す対策を検討することや、最新の国の動きや活用可能な技術の情報収集を適時適切に行い、危機事象の対応に遅れることがないようにすることとしました。

3つ目は、人口減少や高齢化の進展により、地域で自助・共助が成り立たない地域が出てきているため、各種計画が実効性の高い計画になることを求める意見があったことを踏まえ、市町村の計画作成を支援することや、地域の実情に応じて随時、計画を見直すことができるよう市町村を支援することとしています。

4つ目は、椎葉村の台風災害対応の現地調査で意見があった、椎葉村の災害対応のノウハウを、市町村間で情報共有をする機会を設けるとともに、小規模市町村が被災した際の県の支援体制について検討することとしています。

最後に、ローマ数字のⅢで、県への提言を総括して結びとしたいと考えております。

説明は以上です。

○安田委員長 ありがとうございます。

骨子案の説明は以上ですが、委員の皆さん方から御意見等がありましたらお願いします。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安田委員長 御意見がないようですので、この委員会報告書骨子(案)を基に、委員会報告書(案)を作成してまいりたいと思います。

なお、委員会報告書につきましては、正副委員長に御一任いただき、案が出来上がりましたら、印刷のスケジュールの関係で個別に御了解をいただきたいと考えておりますがよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安田委員長 異議なしということで、そのよう
な形で進めさせていただきます。

出来上がりしました報告書につきましては、ほ
か2つの特別委員会の分と合冊して、2月定例
会の最終日に議場で配付することとしておりま
す。

次に、協議事項（2）の次回委員会について
であります。

次回委員会は、2月定例会中の3月14日に開
催を予定しております。

次回委員会では、委員長報告の案について御
協議いただきたいと思えます。

次回の委員会について、何か御意見等はある
いませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安田委員長 それではそのように進めさせて
いただきます。

最後になりますが、協議事項（3）のその他
で委員の皆さんから、何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安田委員長 それでは、次回の委員会は3月14
日、月曜日、午前10時からの予定です。

以上で、本日の委員会を閉会いたします。お
疲れさまでございました。

午前10時45分閉会

署 名

地域振興対策特別委員会委員長 安 田 厚 生

